



鳥取市教育センターだより

第4号 平成26年7月24日発行

〒680-0053

鳥取市寺町150番地

TEL 0857-36-6060

FAX 0857-26-3878

E-mail kyo-center@city.tottori.lg.jp

組織の力

世界中のサッカーファンや多くの人たちが待ち望んでいた「2014 FIFA ワールドカップ ブラジル大会」もドイツの優勝で幕を閉じました。日本代表チームの応援や世界の有名選手の素晴らしいプレーに、早朝よりくぎづけになった方も多かったことと思います。

さて、球技のチームゲームの場合、よく「フォーメーション」という言葉を耳にします。この言葉には、形づくるとか形成するという意味があり、攻撃するときや防御するときの選手の配置体形を表す時に使われています。めざすチームの姿を追求する上で、選手個々の特徴を見極めながら、その選手の持っている能力を最大限に発揮させるためには、どこに配置し、周りにどの選手を置けばいいかなど、全体のバランスと個々の関係を考えながらチームとしてベストな形に組織していきます。しかし、どのフォーメーションにも長所短所があります。繰り返しの練習や話し合いを通して、自分のポジションに求められるものを確認し、互いがカバーしあいながら短所を補い、チームとして勝利という目標に向かって進んでいくのです。

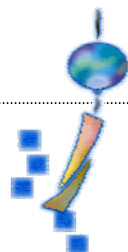
これはまさに私たち学校組織と同じではないでしょうか。めざす学校目標実現のため、校務分掌等が組織されます。そして自分に求められている役割が何なのかを確認し、同僚と一緒に取り組んでいくことで、目指す学校像に近づき、子どもたちに高い教育効果をもたらしていくと思います。世界的に有名な長友選手がディフェンスでありながら積極的に攻撃に参加できるのは、攻撃に参加した長友選手のディフェンスの穴をちゃんとカバーする選手がいるからでしょう。自分の担当だけでなく、すべてのことを自分のこととして関わる意識が組織力をアップさせていくのだと思います。

一か月あまりの夏季休業に入りました。この時期に、個々の力を高めることはもちろんのこと、組織として自分の求められている役割は何なのかを再確認するためにも、積極的に同僚と関わりが合う機会を作ってみてはどうでしょうか。

8月の研修予定

8月19日(火) 14:00~16:30 講師研修会 於国府町中央公民館

8月29日(金) 18:00~19:30 学級経営研修会



第1回ひらがな音読確認

6月下旬に、鳥取市全小学校で1年生を対象とした「ひらがな音読確認」の第1回目が終わりました。この結果を受け、次はタブレット等を利用した音読指導を行います。夏休み前後に21回の指導を学校で行い、読みの改善につなげていきます。

夏休みの家庭での取組も大切です。タブレットやパソコンの環境がなくても、毎日の音読や保護者による読み聞かせ等、文字や言葉に触れる機会を意識して持つことが大きな力になります。教育センターでは、「鳥取大学方式ひらがな読みプログラムのダウンロードの仕方」と「なつやすみ ひらがなよみ がんばりカード」を作成し、各校にメールで送付しました。個人懇談等を利用し、音読指導が必要な児童の保護者にお知らせし、活用していただけたらと考えています。

夏休みに向けて

教育センターでは近年、9～11月の保護者相談や適応指導教室への入級希望が増えるというデータが見られます。要因は特定できませんが、夏休みの生活リズムの乱れも一つとして考えられます。夏休み明けの不登校を増やさないようにするため、次のような点に留意して、児童生徒の夏休み中の過ごし方について指導したり、保護者の意識を高めたりする必要があるのではないのでしょうか。

【予想される不登校の要因】

- ・夏休み中の生活リズムの乱れ
- ・学校生活への負担感の増加
- ・学習へのプレッシャー
- ・夏休みの宿題ができていないこと
- ・学校行事に対する負担感
- ・部活動引退に伴う環境の変化 等

- 就寝・起床時刻を決めた規則正しい生活
- 個に合わせた学習や課題に対するめあての持たせ方
- きまりを守った遊び方（行動範囲、店への出入り・帰宅時刻等）
- 金銭の管理
- スマートフォンやメール、メディアのきまりの徹底 等

長期休業期間を利用して、QUの結果分析と検討、あるいは「集団になじめない」「欠席が多い」など、気になる児童生徒の支援について話し合う機会を設定される学校も多いと思います。先生方が問題を共有されることが、児童生徒の支援に確実に繋がっていくはずです。

鳥取市教育センターの「ひびきセミナー」に現在3校の申し込みがありました。スーパーバイザー（『エール』鳥取県発達障がい者支援センター）の助言を得ながら児童生徒の理解を深め、日々の学級経営や授業実践に生かすための研修会です。ご希望があれば、教育支援係までご連絡ください。

研修企画係より

学級経営研修会

(6月27日(金)に、若手の先生方を対象とした「学級経営」に関わる研修会を行いました。)



「とても勉強になった」「初心に帰ることができた」「アドバイスされたことを学校で実践している」「いろいろな意見を共有できた」等の感想が寄せられました。

小学校3,4年生担任の方を中心としていますが、参加者の中には他学年の担任、級外の先生もおられ、それぞれが感じている学級経営に関する課題をあげ、お互いの経験からアドバイスし合うなど、活発な意見交換が行われました。どの先生も非常に意欲的で、1時間30分の研修時間はあっという間に過ぎてしまいました。次回は8月29日(金)を予定しています。夏休み明けの学級経営、支援が必要な児童への働きかけや保護者との関わり方についての研修を企画しています。多くの先生方の参加をお待ちしています。

小中一貫教育研修会

昨年度までに各中学校区で小中一貫教育を柱にしたさまざまな実践が行われました。

鳥取市教育委員会では、今年度より「特色ある中学校区の創造」をめざす小中学校の一貫した教育をさらに充実させたいと考えています。6月30日(月)の第1回小中一貫教育研修会では、各中学校区から1名の研究主任の先生方に参加していただき、各校区の取組についての意見交換を行いました。小中学校が連携をさらに深め、子どもたちに視点をあてた、子どもたちの育ちを支えていく取組が展開されることを期待しています。第2回の研修会を12月15日(月)に予定しています。



中学校区で作成された保・幼・小・中15年間を見通した連携の資料や家庭学習の手引き等の紹介もありました。



先生方の意見交換からも、中学校区での取組が子どもたちを支えていることが感じられます。